

グライダー飛行活動のご案内

1. 日常活動: 飛行訓練と機体・環境整備 公益社団法人 宮城県航空協会 2023年5月

(1) グライダー(上級滑空機)による飛行訓練

- エンジンが付いていない機体です。当協会ではASK21等を所有。
- 貴方が前席に乗り、後席に教官が乗ります。
- ウインチ曳航で、高度300mぐらいで離脱し、飛行時間は5分ぐらいです。
- 上昇気流がなければ、エアワーク(空中操作訓練)をしながら降りてきます。
ダウンウインド高度180mのチェックポイントを通過し、着陸訓練をします。
- 上昇気流があれば、ソアリング(滑空)の訓練ができます。(高高度飛行訓練もできます)

(2) モーターグライダー(動力滑空機)による飛行訓練

- エンジン駆動のプロペラを持つ機体です。当協会ではタンデム・ファルケを所有。
- 貴方が前席に乗り、後席に教官が乗ります。
- 自力で離陸して、エアワーク(空中操作訓練)をします。
- 離着陸訓練は、タッチ&ゴーで続けて何回も出来ます。(現在5回で制限)
- 上昇気流があれば上空でエンジンを止めて、ソアリング(滑空)の訓練ができます。
- 1回の飛行訓練時間は、自由にとれます。
- 免許取得のための実地試験には、クロスカントリ(野外飛行)の航法があります。

(3) 機体整備: 日常的な整備と耐空検査前の整備をします

(4) 環境整備: 滑空場・事務所・敷地内を整備します

2. 飛行訓練の手続と免許を取得するまで(詳細は「グライダーパイロット誕生の道筋」を参照)

- (1) 「航空機操縦練習許可証」を取るために、航空身体検査を受けます。(1年有効、25,000円程度)
- (2) ソロ(単独飛行)に出るまでに、「航空特殊無線技士」等の無線免許を取ります。
- (3) 学科試験を受けます。(航空工学、気象、空中航法、航空法規、[航空通信]): 択一試験
- (4) 実地試験を受けます。(学科試験合格後2年以内) 角田滑空場で受験できます

3. 会員クラスと入会金及び年会費 (単位:円)

会員クラス	入会金	年会費	入会時の年度末年齢	入会金割引額
PRIVATE会員	100,000	36,000	20才以下	75,000
FAMILY会員	300,000	36,000	21才~30才	50,000
OWNER会員	500,000	36,000	31才以上	0

4. グライダーの訓練飛行料金 (単位:円)

会員クラス	ウインチ曳航料	機体使用料		ウインチ曳航での合計飛行料金(例)			
		最初の10分	その後10分毎	5分の場合	15分の場合	30分の場合	1時間の場合
PRIVATE会員	2,000	3,000	1,300	5,000	6,300	7,600	11,500
FAMILY会員	2,000	2,200	1,000	4,200	5,200	6,200	9,200
OWNER会員*	2,000	1,800	700	3,800	4,500	5,200	7,300

5. モーターグライダーの飛行料金 (単位:円)

会員クラス	着陸料	機体使用料	合計飛行料金(例)		
		1分毎	15分の場合	30分の場合	1時間の場合
PRIVATE会員	1,100	300	5,600	10,100	19,100
FAMILY会員	1,100	250	4,850	8,600	16,100
OWNER会員*	1,100	200	4,100	7,100	13,100

*年度末年齢が30才以下の会員は、会員クラスにかかわらずOWNER会員の料金を適用する。

6. 活動場所・活動日

(1) 飛行活動: 角田滑空場 角田フライトサービス: 130.80MHz

場所	阿武隈川の角田市東根橋上流左岸の河川敷(角田市佐倉)北角田中学校そば L21.5		
飛行日	主に、土曜日・日曜日及び祝祭日		
滑走路	舗装400m×15m、草地1,000m×45m	14/32	標高: 30feet

(2) 機体整備活動等: 宮城県航空協会角田事務所

住所・電話	住所: 〒981-1533 宮城県角田市平貫字江合13番地2	電話: 0224-69-2322
活動日	主に、土曜日・日曜日及び祝祭日の雨天時・悪天時	

7. 飛行している主な機体

	機種	登録記号	L/D	主な飛行内容	酸素
グライダー (複座)	ASK21(K2)	JA2326	33	訓練、体験搭乗、曲技	○
	グローブG103TⅢ	JA2554	35	訓練、体験搭乗	
グライダー (単座)	ピラタスB4	JA2325	35	クロスカントリ、曲技	○
	スタンダード・リベレ	JA201B	38	クロスカントリ	○
	LS4(XG)	JA21XG	40	クロスカントリ	○
	ディスカス(SS)	JA2458	43	クロスカントリ(エンジン付き)	○
モーターグライダー	タンデム・ファルケ(SF)	JA2178	26	訓練、クロスカントリ、体験搭乗	

8. 体験搭乗(お客様1人)

グライダー(ウインチ曳航)	離脱高度約300m、飛行時間5~8分	6,000円	10分越 150円/分
モーターグライダー	飛行時間約15分	12,000円	20分越 400円/分

9. 体験搭乗や入会等に関するお問い合わせ先及び活動予定情報の入手

- ・ホームページ(<https://www.sky-miyagi.org/>)の問い合わせコーナー及び掲示板
- ・上記6. (2)項の角田事務所の連絡先

グライダーパイロット誕生の道筋

公益社団法人 宮城県航空協会 2023年5月

- 1 「航空身体検査」受検(14歳以上) 年に1回受検 (申請料含めて約25,000円)
 竹田総合病院:芳賀診療部長 0242-29-9877 福島県会津若松市山鹿町
 浅沼整形外科 022-247-7533 仙台市太白区長町
 渡辺内科胃腸科病院 022-247-3105 仙台市太白区長町
取得「航空機操縦練習許可証」 1年間有効

- 2 飛行訓練開始
 離着陸・空中操作(エアワーク)・緊急操作・ソアリング・高高度飛行
 モータグライダー体験・アクロバティック(曲技)飛行体験
 機体の組立・地上取扱・飛行前点検
 滑空気象・無線通信他

- 3 「航空特殊無線技士」試験受験:総務省
 試験月 2・6・10月
 場所 仙台
 科目 無線工学・法規・電気通信術
取得「航空特殊無線技士免許証」 有効期間無期限 単独飛行時必携

4 初単独飛行	初飛行から	初飛行時		日本滑空記章	
	Aさん:3年	267 発航	63 歳	A章	単独飛行
	Bさん:1年10ヶ月	108 発航	55 歳	B章	安定した飛行能力
	Cさん:1年1ヶ月	131 発航	53 歳	C章	30分以上の滞空飛行
				銅章	2時間以上の滞空飛行

- 5 「自家用操縦士(上級滑空機)」学科試験受験
 試験月 3・7月 11月
 場所 岩沼 東京
 科目 航空工学・滑空飛行に関する気象・空中航法・国内航空法規
取得「学科試験結果通知書(合格)」 2年以内に実地試験を受けないと無効になる

- 6 実地試験受験に向けた飛行経歴作り(航空法施行規則第43条 別表第2)
 次に掲げる滑空を含む単独操縦による3時間以上の滑空
 (1) 曳航による30回以上の滑空
 (2) 失速からの回復方法の実施

- 7 「自家用操縦士(上級滑空機)」実地試験受験 又は 指定養成施設への入所 (16歳以上)

	実地試験受験	指定養成施設:(例)日本グライダークラブ
試験日/入所日	任意(平日)	年2回
場所	角田滑空場	板倉滑空場(群馬県)
内容	口頭試問・飛行実技	14日間の課程を修了し審査に合格する
試験官	国土交通省職員	民間技能審査員
合格通知	「技能証明発行通知」	「修了証明書」

取得 誕生	「自家用操縦士技能証明書(上級滑空機)」	初飛行から	合格時
	「自家用操縦士(上級滑空機)」	Aさん:5年5ヶ月	517 発航 68 歳
		Bさん:3年8ヶ月	261 発航 59 歳
		Cさん:2年5ヶ月	326 発航 56 歳

補 現役パイロットとして飛行するための法的要件

- a. 「航空身体検査」受検
 指定医は上記1項に同じ。
 40歳未満 最長5年間有効
 50歳未満 最長2年間有効
 50歳以上 最長1年間有効

国際航空連盟銀章	
滞空時間	5時間以上
獲得高度	1,000m以上
距離	直線50km

取得「第2種航空身体検査証明書」

- b. 「特定操縦技能審査」受験
 離着陸、緊急操作、最新の法改正の内容等について、口述試験・実技試験を受ける
 当協会の操縦教員に審査員がおり、角田滑空場で普段の飛行環境で受験可
 技能証明書取得直後の初回は免除。以降、2年毎に要受験。